

# 北教

発行所  
北海道教職員組合  
札幌市中央区南3条西12丁目  
電話(561)8289  
発行人/林 秀彦 夫  
編集人/野 中 靖 夫  
(組合員の購読料は  
組合費の中に含む) 定価5円  
印刷=勝 印刷 紙 工  
電話(561)3597

## 北退教版

No.150

札幌市中央区南3条西12丁目  
教育会館  
北海道退職教職員  
連絡協議会  
電話(011)561-8532番  
fax(011)532-0239番

# 祝 米寿・喜寿 特集

米寿に想う

昭和のはじめにお生まれになり激動の八十八年を生き抜いてこられたみなさんの想いをおよせいただきます。

## 健康第一、いきいき生きる!

人生の匠 高齢こそ最高の誇り

北海道退職教職員連絡協議会

会長 清水史朗



### 男性寿命、初の八十歳超え

米寿・喜寿を迎えられた皆様のご長寿を心からお祝い申し上げます。

昨年の日本人の平均寿命は女性八六・六一歳、男性八〇・二一歳で、いずれも過去最高を更新しました。男性は初めて八十歳を超え、女性は二年連続で長寿世界一となりました。

### 生きぬいた 激動の時代

皆様は激動の二十世紀を生きぬいてこられた方々です。戦前・戦中、そして戦後の苦難の中から教育復興、平和と民主主義、民主教育確立に取り組まれたご苦労を想うとき、筆舌に尽くしがたいものがあつたことだと思います。

# おめでとうございます

### 戦争への暴走を 絶対に許さない!

安倍首相は七月一日に多くの国民の反対の声を

無視し集团的自衛権行使を容認する閣議決定を強行しました。

戦後六十九年、平和憲法のもと一人の戦争犠牲者を出してきませんでした。

戦後六十九年、平和憲法のもと一人の戦争犠牲者を出してきませんでした。だが、海外での武力行使を可能とする富国強兵路線、戦争のできる国へと変えようとする暴走は絶対に許すことはできません。今こそ「教え子」を再び戦場に送らないといふ、不滅のスローガンを高々と掲げ、平和で「本当に長生きしてよかった」とお互いに実感できる福祉社会をめざし、決意を新たに北退教運動の発展を期して参ります。

### 健康第一で 活躍を!!

人生の匠、高齢こそ最大の誇りです。北退教に結集する皆様が与えられた天寿を自らのものとする気概と誇りをもって、どうぞいつ迄もご健康で活躍されますよう祈念し、お祝いの言葉といたします。



米寿を迎えたよろこび  
小 林 修 子 さん (石狩)

私は韓国のソウルで生まれました。ソウルの女学校を卒業し、終戦を迎え引揚げてまいりました。子供の頃は体が弱く

### 原爆の日と思う

松川 ノブ子 さん (札幌)

一瞬にして変貌した瓦礫の街中を、息絶え絶えの体を引きずりながら、我が家に辿りつき、玄関での『只今帰りました。』と直立不動の姿勢での挨拶



平和を守ろう  
佐藤 章 さん (石狩)

歳月の流れは早く、気がつくともう八十八年の齢を重ねてきました。大正・昭和・平成と激動の時代を元気に生き抜いてきたおかげで、人生



私の教育経験  
加畑 與 吉 さん (室蘭)

赴任校は室蘭市内、昭和二十年四月北辰国民学校、福本重次郎校長、偉大な悠揚迫らざる方の薫陶を受け幸運。音楽合唱と学級の融和。武揚小では地

ができました。これほど嬉しいことはありません。今は車を運転して、買い物にかけたりしております。北退教の皆様御健闘を心から願ひ、御礼の詞と致します。

ております。どれ程多くの若い命が失われたことか? 二度と繰り返してほしくありません。戦争体験者として、若い方々の平和で幸せを願う者の一人として強く強く望みます。世界の平和をみんなで築きましょう。

感謝の一言  
沼口 源 一 さん (函館)

米寿のお祝いを戴き、誠に有難うございます。戦前、戦中、終戦の昭和二十年は兵隊検査で終了となりました。



休みながらの庭仕事  
伊藤 吉三郎 さん (渡島)

台風も過ぎ去ってやっとならしくなり皆様お元気です。私今なんとかがこのように何よりと存じています。このたび私の米寿のお祝いありがとうございます。厚くお礼申し上げます。



町内の方々と交流も  
宮越 信 子 さん (空知中央)

今は日本人女性の平均寿命は八十六歳とか。私はそれを乗り越えてまもなく八十八歳ですが一人暮らしです。買物は冬期間のみ週一回車を運転

みんなみんな有難う  
ごさいました!!  
(渡島) 富山県在住  
松井 芳 子 さん

米寿八十八歳を迎えました。ひたすらに歩いて来た歳月を振り返ると交々涙が溢れます。大正十五年生まれです。昭和の時代を全部生き戦争の悲惨さが身に沁みついた世代です。

今も楽しんでおります。毎年一回の書展に苦心しながらの緊張感に浸るのも意義あることと、続けております。

曾孫が二人になり、楽しみが増えましたが、疲れも増えます。更に上の坂へ。

とオノで割って居りましたが、若い時にやりましたが、力がなく休み休みやって居ります。浦島太郎が童宮城に居たように年とらなるといいます。今後ともよろしくお願ひします。

からはフォークダンスや貯筋体操をやっています。いろんな事に参加する事によって友人が出来るのが嬉しいのです。自分の食事のお裾分けをし、町内の方々と交流を図りつつ、暮らしを楽しんでいます。



### 心痛む悲惨な戦争

退職後、二十八年たち現在、娘と生活しています。最近足が弱くなり、外に出がたく、家に引

特に世界のあちこちで戦争している国々に悲惨さに、心が痛みます。それぞれの国の人達みんなが、平和で、安心して暮らせるようになって欲しいと心から願っています。



### 今、いつかきた道の不安

治安維持法の翌年に生まれ、満州事変から第二次大戦までの十五年戦争。そんな時代に育った十八

年。今、いつか来た道の不安を抱かせる世情。戦争に駆り出されるのはあなた方だよ」と、身近の若者にお節介を言っています。元気で



### 世界から尊敬される国を

退職して二十八年いつの間にか米寿を迎えてしまった。多くの方々のご支援のお蔭と感謝の念で一杯である。今まで様々な時代を経験してき

を競っている。一方環境破壊による異常気象、災害や汚染、貧困、犯罪、テロ、エネルギー問題等数えあげればキリがない。この様な世界にあつて日本はどう進むべきか? よき伝統は守りながらも世界から尊敬される国を期待する。



### A君との再会

一本の電話が私の胸を震わせた。社会人生の始まりに当たる最初の生徒だったA君からのものだった。昭和二十二年五月と言え、新憲法に基づ

あつた。そのA君が私を訪ねたいと言う。吃驚の私は早速住所を明かし歓迎する旨を伝えたが、記念すべき珍客を受け入れる話は置いて、もう七十年代後半の彼との再会は八十年代後半の私にも強烈な印象を与えてくれた。



### 詩吟、今もつづけてます

米寿は遠い所に有ると思つたが、通過した事に驚きと感謝。在職中病欠ゼロの勤務が退職後四度の入院、健康の有難さを痛感。自由になり水墨、

十名に囲まれ楽しい二日間を過ごし、思い出が又一つ。平和で安心して暮らす平成の時代が続きます様に、願うのみです。八十八年の今日迄をゆっくり振り返るチャンスとを戴き有難うございました。皆様の御健康を御祈念申し上げます。



### 生きぬく活力を

国家の営みで大切なことは何であろうか。それは、全国民が幸せに生きることである。その為に民主主義に基づいた政治を行うことが重要であ

い、ともに社会と国家の構成員としての自覚に立ち、自主・創造・友愛の心を持って学び、働いて義務を果たし、得た権利を公共の福祉に調和させ、以て国家と世界の発展を目指す生活の理想と実践である。」と思考する。



### 偶感

江戸時代の平均寿命は四十八歳と聞いて居ります。北斎と雪舟は九十歳まで絵を描いて居ります。そして晩年ほど優れた作品を残して居ります。

言えませんが数々の思い出が脳裏を巡ります。今、不自由さと気ままさとの独身生活。そして、寄る年波に悲喜交々の明け暮れです。北退教の一層の発展をお祈り致します。



### 米寿を迎えて

大正・昭和・平成の三代に生き八十八歳を迎えました。米寿と言われ

函館で生を受け昭和十一年四月旧満州の四平街小学校四年生に転入し、五年生の秋、腸チフスで死ぬ程の大病をし両親の看護で助かりました。昭和二十二年三月一日修了。三日



### 心配な国の動き

私は今、とても幸せな日々を過ごしており、常に回りの人々や、神仏のご加護により、この世に生かされている事を感謝しつつ生活しております。

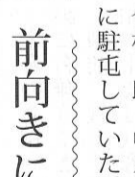
時は、死を覚悟。後数日終戦が遅くなっていたら、今の私は生存していなかったらどうと。あれから六十九年、国の動きが心配される。再び、あの頃の世相に戻らぬ事を祈りつつ筆をおきます。



### もう戦争はいやだあ!!

日本帝国富国強兵制度(男子二十歳、徴兵検査、兵役義務)、誰もが経験した。私の場合、当時スマトラ・パレンバンで石油関係の仕事をしていて現地検査、結果乙種合格、即、中スマトラ島に駐屯していた近衛歩兵

まもなく将官からはじめ兵に至るまでの帰還が始まり、一五〇名が若い故の理由で連合軍の使役要員として残留、スマトラ・メダン港での港湾荷役作業。二十二年十月、ようやく帰還許可、佐世保港上陸、兵役解かれ戦争末期の哀れさ、現在でも忘れていない。



### 前向きに大事に

前向きに大事に生きていきます。古人曰く「老いてますます「壮」あるべし」

に辞令が出て北京西城日本第二国民学校に就職、八月終戦、翌年三月引揚げ函館へ帰国しました。再就職は昭和二十七年八月松山の栄浜小分枝校から始まり最後は函館桐花中学校でした。一〇五歳の母を見送り今は感謝の日々を過ごして居ります。



### 八十八年を顧みて

函館で生を受け昭和十一年四月旧満州の四平街小学校四年生に転入し、五年生の秋、腸チフスで死ぬ程の大病をし両親の看護で助かりました。昭和二十二年三月一日修了。三日

に辞令が出て北京西城日本第二国民学校に就職、八月終戦、翌年三月引揚げ函館へ帰国しました。再就職は昭和二十七年八月松山の栄浜小分枝校から始まり最後は函館桐花中学校でした。一〇五歳の母を見送り今は感謝の日々を過ごして居ります。

# 祝米寿

- (札幌東区) 石村 克子さん
- (札幌西区) 林 ミイさん
- (札幌南区) 重光 武さん
- (札幌中央区) 木村 英子さん
- (札幌中央区) 奥寺 章さん
- (札幌中央区) 北角 順資さん
- (札幌南区) 佐々木 止さん
- (札幌北区) 湯浅 敏夫さん
- (札幌中央区) 藤田 栄一さん
- (札幌中央区) 長瀬 文枝さん
- (札幌中央区) 正富 容子さん
- (札幌中央区) 井川 清さん
- (札幌厚別区) 三浦 信夫さん
- (札幌厚別区) 荒木 武夫さん
- (札幌厚別区) 荒谷 ふみさん
- (札幌厚別区) 綱本 ヨウさん
- (札幌厚別区) 中山 逸子さん
- (札幌厚別区) 横内 美子さん
- (札幌厚別区) 千葉千代子さん
- (札幌厚別区) 渡辺 隆さん
- (札幌厚別区) 佐藤 安生さん
- (札幌厚別区) 板垣 妙子さん
- (札幌厚別区) 斎藤 智代さん
- (札幌厚別区) 松倉 定男さん
- (札幌厚別区) 清水 明さん
- (札幌厚別区) 富谷 キヨさん
- (札幌厚別区) 富田 由一さん
- (札幌厚別区) 山川 健治さん
- (札幌厚別区) 糸林 章吉さん
- (札幌厚別区) 霜下美恵子さん

# 祝米寿

- (上) 川片山 一さん
- (函) 館 石田 信英さん
- ( ) 柳橋 あつさん
- ( ) 上杉美喜子さん
- ( ) 野村 啓子さん
- (函) 館 加藤 佳子さん
- ( ) 南部 伊乃さん
- (渡) 島 永谷 一夫さん
- ( ) 久田 惣衛さん
- (室) 大和田柳子さん
- (南 空 知) 石野百合子さん
- (空知中央) 帰山 フミさん
- ( ) 高橋 久さん
- ( ) 大村 仁さん
- (釧 路) 今井 泰子さん
- (釧 路) 増富ナミ子さん
- (帯 広) 宮崎 更一さん
- ( ) 高井 俊子さん
- (網 走) 工藤 大成さん
- ( ) 佐々木一三さん
- (網 走) 熊田 長秀さん
- ( ) 木間 勇さん
- ( ) 猪足 礼さん
- (道 外) 男澤 千里さん



## うれしい教え子からの便り

「米寿」祝いありがとうございます。三十八年間の教員生活は忘れられない人生の一つで、多くの人のおかげです。ありがとうございます。

今は「七宝焼き」。三十年から作っていたことを教えてあげようと思っ



## 家族で震災ボランティアへ

お祝い有難うございました。アツという間の八十八年と思いましたが、色々な思いが次々と心に浮かび、八十八年は矢張り長い道程でした。教え子を戦場には送りませんで

す。また、東日本大震災の年八月に、家族で大槌町にボランティアで行き、炎天下で瓦礫撤去をして、少しでもお手伝いをして来ました。



## 校舎に米軍の銃撃

昭和二十年渡島銭亀澤村立宇賀国民小学校に赴任。着任後間もなく丘の上の校舎は米軍機の襲来で銃撃の的となった。窓ガラスや屋根が銃弾で炸

以後平和の時代となり三十年勤務できた。教え子達は立派に成長活躍し、衆議院議員、瑞宝章授賞者、作家等々、又、一人一人がそれぞれの持ち場で輝いている。米寿の日を迎えるに当たって感激の日々である。



## 米寿を迎えて

恥ずかしいですが、馬鹿なことをやりました。夫が亡くなった小学校のクラス会も少なくなり、クラス会も降ろしました。

今でも私が苦しんでいるのは、膝関節炎の後遺



## 大病から立ち上がって!!感謝

退職から数年後に体調を崩す破目になりました。病名は「再生不良性貧血」。難病で三年の命と知らされ本当に驚きました。第二の人生を描

ていただけに悲嘆にくれた日々でした。その頃に新薬の登場で一歩の望みをつなげました。私は生きる、この一念を強く胸に刻み療養に専念しまし



## 平和こそ宝

そろそろ九十歳に手が届く年齢になり、丈夫な体を生んでくれた両親に感謝しております。

子ども時代は軍国主義・国粹主義の徹底した



## 抑留生活四年半位は長生きせねば

十八歳十月で入隊、幹部候補生として古年兵にいじられ、十九歳から二十三歳数か月迄北樺太オハに抑留。師範生とし

て学ぶ筈の年数がフイになったのは痛恨の極みだ。酷寒地、最悪の食糧事情、栄養失調で入院もした。中隊長(偶然にも恩師)



## 激動の時代を生きて

援農に勤労働員。形ばかりの学業を終えて教壇に立ったのは昭和二十年。七月半ばには、グラマンの攻撃で恵山沖に轟沈する軍艦の最期を見、八

病息災でいることと、自由な時間を得ての想定外の見聞の機会を得たこと。



## 心身共に健康でありたい

私は、若い頃から山歩きをしていたので脚腰には多少の自信がありました。小樽近郊の小さな山ですが、けわしい山もあ

つて未知の山々に踏みこ



## 歴史はくりかえされるか?

兵員不足の為十九歳で現役召集、出発の未明全道空襲と艦砲射撃に遭遇し身の危険を感じながら津軽海峡を駆逐艦に護衛され入隊。度重なる警報

の後青森全市丸焼けを遠望し、以前より対戦皆無の戦況を思い、敗戦を予感する。除隊後二十歳で訓練、本年教え子八十歳感無量。戦前戦中戦後の



## 米寿を迎えて

今年六月二十五日を持って頂いたと思ひ嬉しく思っております。その間皆様方よりお祝の言葉頂きまして大変恐縮致して居ります。

おかげ様で長生きさせて



## 教え子に会う楽しみ

米寿のお便りが届きました。自分としては実感がない人ごとのように思

つておりましたが十月には真正正銘八十八歳になります。こんなに長く生

体健康は勿論、心の健康も大切です。私は現在、合唱団に所属して週一度の練習で爽快に声を出しています。心の健康を意識しながら、八十八歳の年齢に負けず、声を張りあげています。

近・現代史の学習不足。頭脳は良いのでしようが幼稚な感覚の政治屋集団では又、歴史は繰返されるか?の感深し。

思う様に働けなくなり、ますます皆様方にお世話にならなくてはなりません。周りの方々に感謝しながら一日一日を大切に過ごしております。遠くには出掛けられませんが家の附近を散歩しています。

ほんとうに健康で務める事が出来た事にも感謝感謝です。

またたくさんの教え子達も七十を越えおじいちゃん、おばあちゃんになっています。会う事がとても楽しみです。

# さらに強まる、現地の闘い!



住民の首を絞める海上保安庁職員「沖縄タイムス」(8・23)



「北退教」の「激」もち、基地前で激励



全国交流会で挨拶する北退教会員

十一月十六日の知事選勝利、埋立て阻止にむけ北退教は今、沖縄闘争連帯カンパを大震災と戦争をさせないカンパと一体的に十二月十八日迄と取り組んでいます。どうかよろしくご協力を心よりお願い致します。

こみあげる怒り  
基地の中の沖縄!  
山根 正子(南空知)  
米軍基地の中に沖縄が

泉 真沙子(南空知)  
来てよかった。本当に沖縄を沢山知る事ができた。

「この闘いは必ず勝つ!」決してあきらめない。沖縄の心、誇りを冒され差別されて黙っていられるか!」

「北野古の海は戦争に負け何も食うものがなかったときおらたちを救ってくれた命の恩人さあ。この恩人を殺すというならおらたちを殺せ!」十八年前、北野古のおばあ二〇人があせせ!と防衛庁職員をにらみつけ闘いが始まった。私にこう話してくれたおばあは今はいない。しかしその想いはしっかりと引き継がれている。十年前私が初めて北野古に来た時より厳しく状況の中で「今日は闘いの第一歩だ!」この訴えには勝利の確信に向けた余裕すら感じられた。

(北島 義久)

「諦めないぞ!」さらに強まる現地の闘い  
北退教は「激」布とゼッケンをつけ、普天間、辺野古現地で連日すわりの抗議活動を展開。「辺野古新基地建設阻止!」「ともに闘うぞ!」と共同の輪を強めました。

頭を海中に沈め首をしめる大弾圧を刑事告発!!  
七月一日、安倍政権は県知事選を前にボーリング調査を強行。反対住民を羽交い締めにしカヌーからひきずりだし首を締め、(十日間の頸椎捻挫)頭をおさえ海中に沈める

「お前達の将来はない!」  
この異常な事態は安倍首相が防衛・海上保安部幹部をよび、「今度阻止されたらお前達の将来はない」と恫喝したためといわれています。一方で、「沖縄の気持ちに寄り添

う」とうそぶく首相。しかし、交流団が現地で実感したのはこうした弾圧は全く逆効果、十八年の闘いを土台に「絶対諦めないぞ」の怒りにもえたい運動が一段と広がっているという事でした。

交流団に心響いた言葉。「すべて剣をとるものは剣に亡ぶ。基地を持つ国は基地で亡ぶ。核を持つ国は核で亡ぶ。」(沖縄のガンジ・師波根昌鴻氏の言葉)  
69年間戦争難民です。  
加藤 康宏(空知北)  
この憤怒に込め、安保地位協定撤廃、全基地撤去、そして辺野古新基地要建設阻止!全国から一大運動を巻き起こそう!

戦後最大の危機  
中川 洋子(南空知)  
沖縄は、日本の命運を賭けて闘っている。戦後最大の危機である。沖縄の知事選の結果は、私たちの未来を予測するものだ。安倍政権を打倒するまで諦めないぞ!

「この闘いは必ず勝つ!」決してあきらめない。沖縄の心、誇りを冒され差別されて黙っていられるか!」

「北野古の海は戦争に負け何も食うものがなかったときおらたちを救ってくれた命の恩人さあ。この恩人を殺すというならおらたちを殺せ!」十八年前、北野古のおばあ二〇人があせせ!と防衛庁職員をにらみつけ闘いが始まった。私にこう話してくれたおばあは今はいない。しかしその想いはしっかりと引き継がれている。十年前私が初めて北野古に来た時より厳しく状況の中で「今日は闘いの第一歩だ!」この訴えには勝利の確信に向けた余裕すら感じられた。

(北島 義久)

## 北退教から13名参加 第5次日退教沖縄交流団(9/28・29) 報告

北退教から「北から南から怒りのマグマを!!」等のゼッケンをつけ、これ迄最多の十三名が参加。大歓迎していただいた沖縄はじめ他県と共に現地を見聞、闘いの強化を誓いあいました。

交流団に参加して  
池本 博子(室蘭)  
辺野古は代替基地なのではなく新基地なのだ。怒りをこめ説明してくれたい。沖縄の仲間感謝。その根拠となる日米安保を破棄しなければならぬ。

皆川真知子(南空知)  
九月下旬、真夏の気温の沖縄に到着。二日目に辺野古で多くの人々と会うことが出来ました。握手が、しばらく手に残りました。今日は、高江で連帯して来ます。

「この闘いは必ず勝つ!」決してあきらめない。沖縄の心、誇りを冒され差別されて黙っていられるか!」

「北野古の海は戦争に負け何も食うものがなかったときおらたちを救ってくれた命の恩人さあ。この恩人を殺すというならおらたちを殺せ!」十八年前、北野古のおばあ二〇人があせせ!と防衛庁職員をにらみつけ闘いが始まった。私にこう話してくれたおばあは今はいない。しかしその想いはしっかりと引き継がれている。十年前私が初めて北野古に来た時より厳しく状況の中で「今日は闘いの第一歩だ!」この訴えには勝利の確信に向けた余裕すら感じられた。

(北島 義久)

このごろ思うこと  
中村 清さん(室蘭)  
軍国主義教育を受け、「日本は不敗なり」を信じて太平洋戦争に突入、やがて敗戦。  
旧満州から、はじめて

実を結んだ母性保護の活動  
羽野 美智子さん(上川)  
此の度は米寿の祝のお言葉を頂きましてまことに有難うございました。お陰様で年齢なりの生活で、お茶や詩吟などを

交流団に参加して  
石狩のひまわりの里  
友は皆 一病抱へ 集う秋

兄等は喜寿、師は米寿の級会  
片山 ナツさん(札幌)  
クラス会 故郷偲ぶ 秋の夕

「この闘いは必ず勝つ!」決してあきらめない。沖縄の心、誇りを冒され差別されて黙っていられるか!」

「北野古の海は戦争に負け何も食うものがなかったときおらたちを救ってくれた命の恩人さあ。この恩人を殺すというならおらたちを殺せ!」十八年前、北野古のおばあ二〇人があせせ!と防衛庁職員をにらみつけ闘いが始まった。私にこう話してくれたおばあは今はいない。しかしその想いはしっかりと引き継がれている。十年前私が初めて北野古に来た時より厳しく状況の中で「今日は闘いの第一歩だ!」この訴えには勝利の確信に向けた余裕すら感じられた。

(北島 義久)

強く感じる平和の尊さ  
二宮悦子さん(空知中央)  
米寿を迎え今更月日の流れの早さに驚いていま。最初に教えた子が七十八歳になり訪れて来ました。七月にも近くに住む同級生の集まりに参加

白寿を目標に  
広瀬雪路さん(帯広)  
不肖私が米寿を迎えられたとは?  
三十四歳の折、体調の異変で病院へ。すぐ入院、手術。早期発見だった事と評判の名医による

交流団に参加して  
「人生は山坂多い旅の道」とか、激動の昭和世代は、まさに、波瀾万丈の人生であった。終戦後、昭和二十一年四月、母校振り出しに四十一年

兄等は喜寿、師は米寿の級会  
宮川 宏さん(渡島)  
「人生は山坂多い旅の道」とか、激動の昭和世代は、まさに、波瀾万丈の人生であった。終戦後、昭和二十一年四月、母校振り出しに四十一年

「この闘いは必ず勝つ!」決してあきらめない。沖縄の心、誇りを冒され差別されて黙っていられるか!」

「北野古の海は戦争に負け何も食うものがなかったときおらたちを救ってくれた命の恩人さあ。この恩人を殺すというならおらたちを殺せ!」十八年前、北野古のおばあ二〇人があせせ!と防衛庁職員をにらみつけ闘いが始まった。私にこう話してくれたおばあは今はいない。しかしその想いはしっかりと引き継がれている。十年前私が初めて北野古に来た時より厳しく状況の中で「今日は闘いの第一歩だ!」この訴えには勝利の確信に向けた余裕すら感じられた。

(北島 義久)

て来た生徒もいて、住む所食べ物さえ不足していたので、元気で集まった事を喜び合った。平和の尊さを強く感じ、「二度と教え子を戦場に送るな」の言葉をかみしめる此の頃です。

技術のお陰で趣味の踊りを指導する迄に回復。ところが八十六歳の折、股関節の老化で無理は禁物、涙をのんで退会。其の後、毎日一〇Kメートル

教師について、仕事に子育てにのびのび活動しているのをみますと感慨深いものがございませう。

「人生は山坂多い旅の道」とか、激動の昭和世代は、まさに、波瀾万丈の人生であった。終戦後、昭和二十一年四月、母校振り出しに四十一年

「この闘いは必ず勝つ!」決してあきらめない。沖縄の心、誇りを冒され差別されて黙っていられるか!」

「北野古の海は戦争に負け何も食うものがなかったときおらたちを救ってくれた命の恩人さあ。この恩人を殺すというならおらたちを殺せ!」十八年前、北野古のおばあ二〇人があせせ!と防衛庁職員をにらみつけ闘いが始まった。私にこう話してくれたおばあは今はいない。しかしその想いはしっかりと引き継がれている。十年前私が初めて北野古に来た時より厳しく状況の中で「今日は闘いの第一歩だ!」この訴えには勝利の確信に向けた余裕すら感じられた。

(北島 義久)